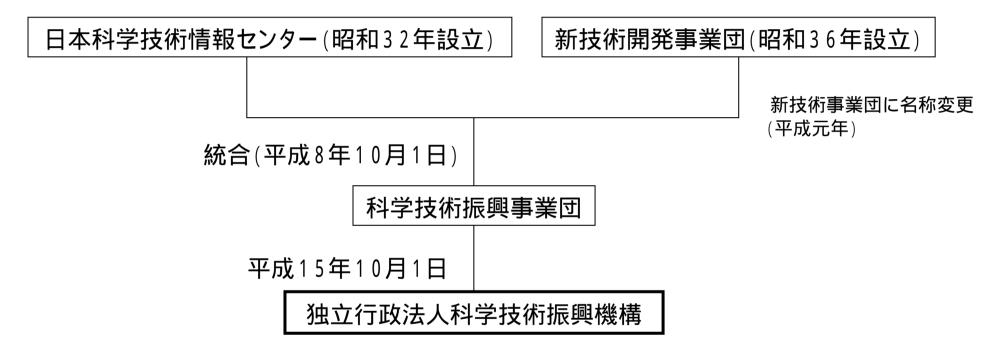
独立行政法人科学技術振興機構 の事業の概要 (平成17年度)

平成17年8月

1.沿革、所在

沿革



所在;本部(川口市)

2.科学技術振興機構の目的及び業務

機構の使命

技術シーズの創出を目指した、基礎研究から企業化開発までの一貫した研究開発の推進 科学技術情報の流通促進など科学技術の振興基盤の整備 及びを総合的に行い、我が国の科学技術の振興を図ることを使命としています。

機構の業務

.新技術の創出に資する研究

国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを 踏まえ、国が定めた戦略目標の達成に向けた 基礎研究の推進

- ·戦略的創造研究
- ·社会技術研究開発
- ·研究開発(R&D)戦略機能 等

.新技術の企業化開発の推進

大学等の優れた研究成果の社会還元を目的 とした産学連携・技術移転関連施策の推進

- ・独創的シーズ展開事業
- ・技術移転支援センター
- ・研究成果活用プラザ

機構の業務

. 科学技術情報の流通促進

研究開発に係る情報(文献情報、 研究者・研究機関情報等)を総合的に 活用するための基盤整備

- ・文献情報データペース
- ・研究者・研究成果等のデータペース
- ・ハイオインフォマティクス推進センター
- ・科学技術情報発信・流通総合システム 等

研究交流・支援

内外の人材交流・支援を通じた 科学技術振興基盤の整備

- ·地域結集型共同研究
- ·地域研究開発促進拠点支援
- ·国際研究交流
- · 重点研究支援協力員派遣

科学技術理解増進

科学技術に関する知識の普及・ 国民の関心・理解の増進を通じた 科学技術振興基盤の整備

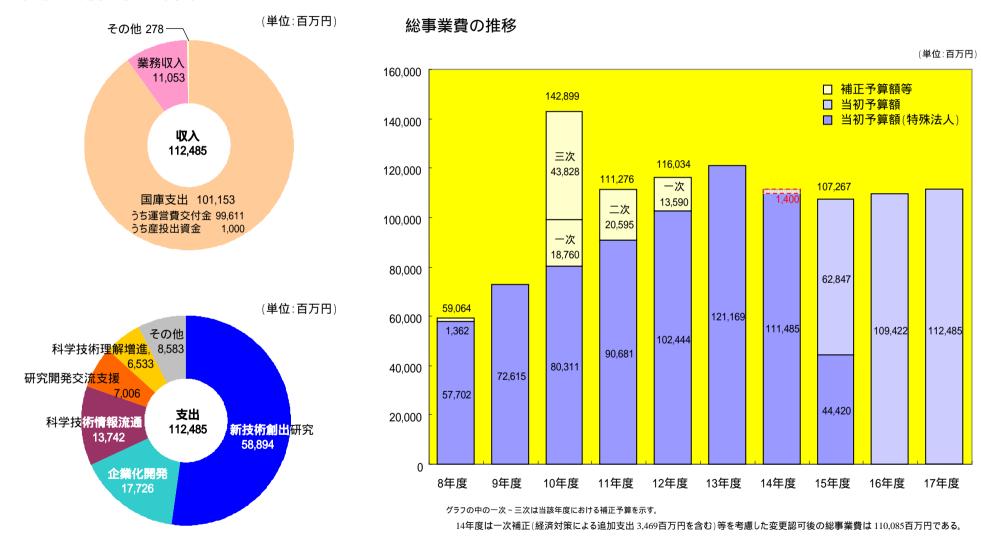
- ・スーパーサイエンスハイスクール支援
- ·研究者情報発信推進
- ·日本科学未来館

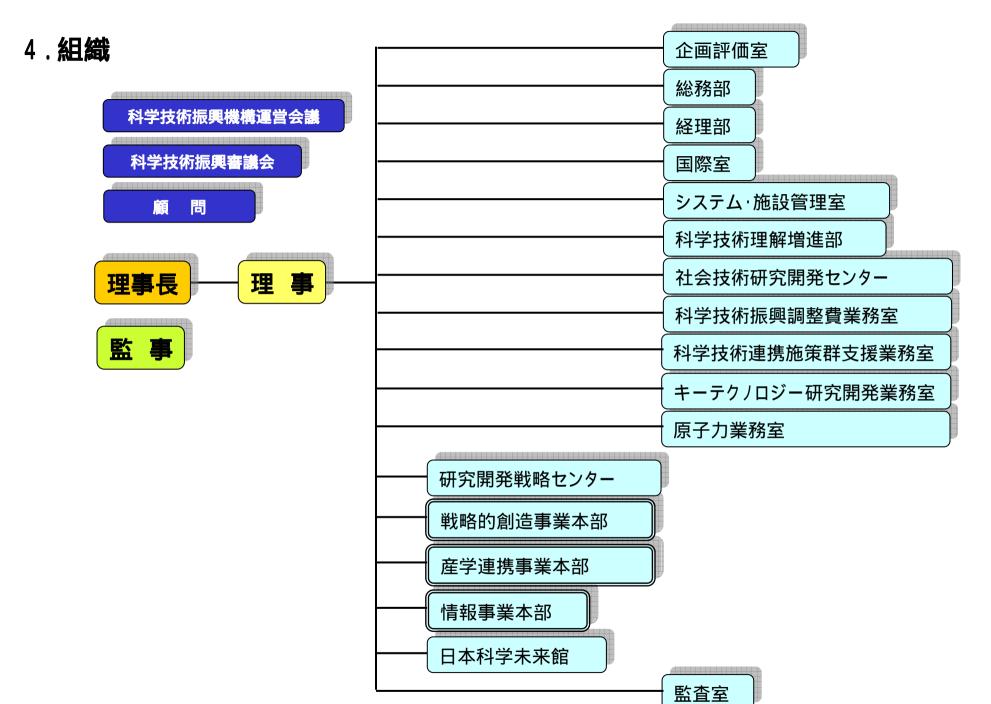
(2)

3.事業予算等

~ 各事業費の割合と総額の推移 ~

平成17年度の収入と支出





生涯学習

[5]

日本科学未来館の活動

メディアとの連携

- ・館長等のテレビ・ラジオ出演、取材対応
- ・プレス懇親会の実施
- ・新聞・テレビ・WEB等各種媒体への広報
- ·テレビ番組とのタイアップ·素材提供

国家間の友好関係強化に資する連携 活動

- ・日本におけるドイツ年(平成17年) 「サイエンス・トンネル」(ドイツ企画展) 「サイエンス+フィクション」(ドイツ企画展)
- ·日豪交流年(平成18年予定) 「革新~オーストラリアと日本の協力展」

展示物(時間旅行展)の海外巡回

- ·上海、メキシコ(貸出)
- ・ドイツ(受入(平成17年度))
- ・オーストラリア(平成18年度実施を 検討中)

国内科学館への展示物巡回

一般·社会

内外の 科学館

学校

研究者 技術者

日本科学未来館

メディア

ボラン ティア

研究者・技術者との連携

- ・特別企画展、常設展等未来館との連 携研究者 144名
- ·白川博士の実験教室 (毎月1回開催)

ボランティア数(平成16年度)

・研究者、技術者との連携 メガスターの開発(技術者(大平氏)) 未来館研究棟ツアー(毎週土曜日開催)

大学・研究機関との連携

- ・共同研究の実施 理解増進・情報発信手法等の研究 (コロンビア大学、横浜国立大学、お茶の水 女子大学)
- ·MOU締結機関等との連携活動 展示企画監修、展示物貸与等 (理化学研究所、㈱国際電気通信基礎技術 研究所、産業技術総合研究所)

学校との連携活動(平成16年)

·SSH校:45校(全72校中)

·SPP校:29校 ·教員研修:35件

(参考)平成17年4~8月現在

·SSH校:35校(予定) ·SPP校:14校(予定)

今後の連携事業

- ・「サイエンス・カフェ」(文部科学省連携)
- ・タウンミーティング(内閣府連携)
- ・産業教育フェア東京大会(文部科学省連携)

:864人 ·大学生·大学院生:233名 友の会 行政府 (主な大学 東大26名、慶大25 入館者 名、東工大23名、早大9名)

-般·社会

·博士号取得者: 37名

·60歳以上:196名

友の会数 32,969人

平成16年度 約63万人 (平成15年度 約62万人) 平成17年4月~6月 約17万人 累計 2.427.784人

人材育成

科学技術に関する文献情報の提供(文献情報提供勘定)

概 要

国内外の科学技術関係資料の抄録等を作成してデータベースを整備し、オンライン等による科学技術情報の提供を行う。

研究情報基盤整備事業

H17年度 2,867百万円 (H16年度 3,095百万円)

情報提供事業

オンライン

H17年度 5,101百万円(H16年度 5,957百万円)

情 報 の 加 工

計算機入力・処理によるDB化

情報の提供

オンラインサービス

· JOIS/JDream

(約2,300万件の文献情報の提供)



【産投出資金】

H17年度 1,000百万円 (H16年度 1,500百万円)

研究者・技術者が必要とする内外の科学技術に関する 文献・資料等の抄録等を作成して文献データベースを 整備し、迅速かつ的確に提供することにより、我が国 の科学技術の振興に寄与。

産投出資金については、科学技術に関する研究開発・技術開発を支えるために不可欠なデータベースを整備する研究情報基盤整備事業費に充当。



抄録(要約)の作成 索引の付与

外部協力機関(16機関) に委託し作成





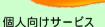
JST科学技術文献ファイル (JSTPlus)



JST国内医学文献ファイル (JMEDPlus)



TDream



1Dream

書誌情報速報サービス



出版サービス ・文献速報(11シリーズ)

[6]

2005年3月現在